

令和5年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

令和4年

11月：平均気温は上・中旬で平年並、下旬で高かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で少なく、下旬で平年並であった。日照時間は上旬でやや多く、中・下旬でやや少なかった。

12月：平均気温は上旬で低く、中旬でやや低く、下旬で高かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で平年並、下旬で極めて多かった。日照時間は上・中旬でやや多く、下旬でやや少なかった。根雪始は12月18日で平年より1日早かった。

令和5年

1月：平均気温は上旬でやや低く、中旬で平年並、下旬で低かった。降水量は上・中旬で平年並、下旬でやや少なかった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬で多かった。

2月：平均気温は上旬で高く、中旬でやや高く、下旬で平年並であった。降水量は上・中旬で平年並であった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。2月20日の土壤凍結深は28cmで平年より7cm深く、最深積雪深は57cmで平年より26cm浅かった。

3月：平均気温は上旬でやや高く、中・下旬で高かった。降水量は下旬で多かった。日照時間は上旬でやや多く、中・下旬で平年並であった。根雪終は3月24日で平年より13日早く、積雪期間は97日で平年より12日短かった。

4月：平均気温は上・中旬で高く、下旬で平年並であった。降水量は上旬で平年並、中旬でやや多く、下旬で極めて多かった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬でやや少なかった。

令和5年

5月上旬：最低気温は平年並、最高気温はやや高く、平均気温は9.1℃で平年並であった。降水量は9.0mmで平年より18.2mm少なかった。日照時間は67.6時間で平年よりやや多かった。

5月中旬：最低気温は平年並、最高気温はやや高く、平均気温は10.1℃で平年並であった。降水量は0.0mmで平年より28.7mm少なかった。日照時間は70.4時間で平年よりやや多かった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温、日照時間および降水量は平年並であった。根雪前の11月下旬の気温が高く、12月上～中旬の気温が平年より低く推移し、12月下旬の降水量が多かったものの、以降の降水量が少なかったため、最深積雪が浅く、土壤凍結がやや深かった。加えて、根雪終が早かったことが特徴的であった。

季節調査

	令和4年				令和5年			
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	土壤凍結深 (cm)	積雪 (cm)	根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
本年	10.20	12.18	57	28	57	3.24	4.23	4.20
平年	10.15	12.19	83	21	53	4.6	4.22	5.6
比較	5	△ 1	△ 26	7	4	△ 13	1	△ 16

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和5年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R4	11	上旬	5.4	6.0	△ 0.6	11.9	10.9	1.0	-0.7	0.7	△ 1.4	11.0	54.4	△ 43.4	1.0	3.1	△ 2.1	55.2	41.7	13.5
		中旬	3.7	3.7	0.0	9.1	8.2	0.9	-2.9	-1.4	△ 1.5	3.5	26.8	△ 23.3	3.0	4.0	△ 1.0	36.8	48.1	△ 11.3
		下旬	4.6	0.3	4.3	10.6	4.8	5.8	-1.6	-5.1	3.5	25.0	24.4	0.6	5.0	3.0	2.0	33.1	51.1	△ 18.0
	12	上旬	-3.9	-1.8	△ 2.1	2.5	3.5	△ 1.0	-10.0	-7.6	△ 2.4	1.5	37.5	△ 36.0	1.0	2.6	△ 1.6	67.5	54.8	12.7
		中旬	-4.9	-3.1	△ 1.8	0.6	1.4	△ 0.8	-11.5	-8.9	△ 2.6	15.5	14.8	0.7	2.0	2.8	△ 0.8	58.6	48.2	10.4
		下旬	-2.3	-5.2	2.9	1.7	-0.6	2.3	-7.2	-11.2	4.0	83.5	13.2	70.3	3.0	2.3	0.7	44.8	56.3	△ 11.5
R5	1	上旬	-8.4	-6.7	△ 1.7	-2.3	-1.8	△ 0.5	-15.1	-13.3	△ 1.8	0.0	6.6	△ 6.6	0.0	1.9	△ 1.9	51.4	55.3	△ 3.9
		中旬	-6.6	-6.9	0.3	-1.3	-2.0	0.7	-13.9	-13.1	△ 0.8	3.0	10.7	△ 7.7	3.0	2.2	0.8	42.6	49.9	△ 7.3
		下旬	-9.2	-6.7	△ 2.5	-4.6	-1.8	△ 2.8	-16.4	-13.5	△ 2.9	7.0	19.5	△ 12.5	2.0	3.2	△ 1.2	74.2	51.6	22.6
	2	上旬	-9.2	-7.2	△ 2.0	-2.6	-2.4	△ 0.2	-18.0	-14.3	△ 3.7	9.0	9.0	0.0	3.0	2.2	0.8	65.9	56.3	9.6
		中旬	-6.2	-5.1	△ 1.1	-1.7	-0.4	△ 1.3	-12.1	-11.7	△ 0.4	10.5	13.5	△ 3.0	2.0	1.7	0.3	33.9	50.9	△ 17.0
		下旬	-5.9	-5.4	△ 0.5	-0.2	-0.1	△ 0.1	-15.5	-12.9	△ 2.6	xxx	9.9	xxx	xxx	1.6	xxx	48.2	53.7	△ 5.5
	3	上旬	-1.2	-2.8	1.6	5.1	1.7	3.4	-8.4	-9.1	0.7	xxx	37.7	xxx	xxx	3.1	xxx	61.1	50.5	10.6
		中旬	1.2	-0.8	2.0	5.8	3.7	2.1	-4.6	-6.0	1.4	xxx	16.8	xxx	xxx	2.8	xxx	59.1	58.8	0.3
		下旬	3.4	0.7	2.7	10.2	5.5	4.7	-2.3	-4.5	2.2	41.5	13.7	27.8	3.0	2.4	0.6	76.0	70.9	5.1
	4	上旬	4.6	2.3	2.3	10.5	7.0	3.5	-0.9	-2.2	1.3	31.5	36.1	△ 4.6	2.0	3.4	△ 1.4	60.6	57.0	3.6
		中旬	6.0	4.0	2.0	12.5	9.7	2.8	-0.7	-1.2	0.5	44.0	24.8	19.2	5.0	2.7	2.3	51.1	59.6	△ 8.5
		下旬	6.9	6.6	0.3	12.1	13.8	△ 1.7	2.2	0.1	2.1	64.5	17.5	47.0	5.0	2.9	2.1	52.2	70.6	△ 18.4
	5	上旬	9.1	8.4	0.7	16.1	14.9	1.2	1.6	2.4	△ 0.8	9.0	27.2	△ 18.2	3.0	4.0	△ 1.0	67.6	58.4	9.2
		中旬	10.1	9.5	0.6	17.2	15.8	1.4	3.7	4.2	△ 0.5	0.0	28.7	△ 28.7	0.0	3.4	△ 3.4	70.4	58.0	12.4

備考1) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

備考2) 2/26~3/13日の降水量が欠測. 2/25の降水量が準正常値. 3/14の降水量が資料不足値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況: ー

事 由

本年は融雪が早かったことから、耕鋤始は4日20日で平年と比べ16日早く、播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年と比べ1日早い5月17日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.16	5.17	△1

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最豊年の平成29年および最凶年の平成28年を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1番草 平年並

事由

根雪終が平年より早かったことおよび融雪後の天候に恵まれたことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年よりも2年目草地で4日、3年目草地で5日早かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で0.8ポイント、3年目草地で0.4ポイント低く、総じてやや低かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で39cm（平年値は46cm）、3年目草地で48cm（平年値は45cm）であったことから総じて平年並であった。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4.17	4.21	△4	1.0	1.8	△0.8	39	46	△7
「なつちから」3年目	TY単播	4.19	4.24	△5	2.0	2.4	△0.4	48	45	3

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成28年～令和4年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目、3年目ともに令和4年)を除く5ヶ年平均値。

注3) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス

作況：1番草 平年並

事由

根雪終が平年より早かったことおよび融雪後の天候に恵まれたことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は、平年よりも2年目草地で3日、3年目草地で4日早かった。冬損状態は、2年目草地で平年よりも0.6ポイント低く、3年目草地で平年と同程度であり、総じて平年並であった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で32cm（平年値は40cm）とやや低く、3年目草地で27cm（平年値は29cm）と平年並であった。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.23	4.26	△3	2.0	2.6	△0.6	32	40	△8
「ハルジマン」3年目	OG単播	4.24	4.28	△4	3.0	3.0	0.0	27	29	△2

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成28年～令和4年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和4年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注3) △は減を示す。

メドウフェスク

作況：1番草 平年並

事由

根雪終が平年より早かったことおよび融雪後の天候に恵まれたことから、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は、平年よりも2年目草地で2日、3年目草地で1日早かった。冬損状態は、雪腐大粒菌核病の発生が認められたことから、2年目草地で平年よりも0.4ポイント、3年目草地で1.8ポイント高く、総じてやや高かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で32cm（平年値は35cm）、3年目草地で26cm（平年値は25cm）と総じて平年並であった。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	4.26	4.28	△2	3.0	2.6	0.4	32	35	△3
「まきばさかえ」3年目	MF単播	4.29	4.30	△1	5.0	3.2	1.8	26	25	1

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平年値：平成28年～令和4年のうち、最凶年(2年目、3年目ともに平成28年)と最豊年(2年目：令和3年、3年目：平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注3) △は減を示す。

令和 5 年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	反 復	施 肥 量 (kg/10a)						栽 植 様 式	
			堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO		
1.サイレージ用										
とうもろこし	11.5	3	4,000	200	8+4	23	14	3	畦間72cm 株間18cm	
「たちぴりか」									7,716本/10a	
2.牧 草										
(1)採草型										
TY「なつちから」	造成年	11.7	4	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	11.7	4	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	9.6	1	-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型										
OG「ハルジマン」	造成年	11.7	4	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	11.7	4	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	9.6	1	-	-	17	8	17	4	2.0kg/10a
MF「まきばさかえ」	造成年	11.7	4	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	11.7	4	-	-	17	8	17	4	播種量
	3年目	9.6	1	-	-	17	8	17	4	3.0kg/10a

1)サイレージ用とうもろこしは、地域適応性検定試験の圃場。

2)牧草は、2、3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3)TY：チモシー、OG：オーチャードグラス、MF：メドウフェスク。